

富岡地域づくり 協議会だより



第12号

平成30年2月10日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

成人のつどいが開催されました



平成30年1月8日（月）10時30分より富岡まちづくりセンターにて、成人のつどいが開催されました。所沢市及び所沢市教育委員会を主催に、富岡地区成人のつどい実行委員会を主管に、これが執り行われました。

ところで、日本では成人を祝う儀式は古くからあり、男子には元服(げんぷく)・禪祝(ふんどしいわい)、そして女子には裳着(もぎ)・結髪(けっぱつ)などがそれにあたりました。尚、今日のような形態の成人式は、第二次世界大戦後間もない1946年（昭和21年）11月22日、埼玉県北足立郡蕨町（現蕨市）において実施された「青年祭」がルーツになっているようです。敗戦により虚脱にあった当時、次代を担う青年達に明るい希望を持たせ励ますために行われたそうです。

これに影響を受けた日本政府は、1948年（昭和23年）に交付・施行された祝日法により「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」の趣旨のもと、翌1949年（昭和24年）から1月15日を成人の日として制定しました。その後（平成10年）の祝日法改正（ハッピーマンデー制度）に伴い2000年（平成12年）より、成人の日は1月第2月曜日に移行しています。

さて、本富岡地区成人のつどいの対象者は、男97名・女子105名・計202名でした。この数は、富岡地区の在住者のことで、富岡中学校・向陽中学校・中央中学校等に通学していた人達で、富岡まちづくりセンター以外の会場の成人のつどいに参加予定者も含まれています。

当日第1部の式典では、薦田健一実行委員長の挨拶及び寺本彰教育委員さんの式辞そして、ご来賓を代表して石本市議会議員さんの祝辞がありました。



私達が成人代表の実行委員です。

上田埼玉県知事の祝電披露のあと新成人を代表して中島道隆・北田紗弓両氏の次代を担う力強いことばの発表がありました。

会場を体育館に移して、「つどい」になりました。新成人実行委員6名による進行で、抽選会等と和気あいあいのうちに時間が経過しました。久しぶりに会った友達と話をしたり写真を撮りあったりと、参加者はこの雰囲気も含め満喫している様子がみてとれました。来場された恩師4名を代表して宮崎裕之先生の話に中学校時代を懐かしんでいる新成人も見受けられました。楽しい雰囲気の中時間があっという間に経過してしまい、なごりがつきにくいお開きとなりました。

結びに、新成人の益々のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いにかえさせていただきます。本当におめでとうございます。

◆成人のつどい式典の様子



おめでとうございます。
受付はこちらです



実行委員長あいさつ



市代表者のあいさつ



厳肅な趣きで聞き入っています



国歌斉唱



成人代表のあいさつ



◆成人のつどいフォトグラフィー

つどいは懐かしい同窓生に会って、
楽しくって話が尽きません



<編集後記>

日本の映画界で半世紀以上も役をつとめ続けているのは、この人のほかにいない。

今年、また新たな一歩を刻む。3月10日に公開される最新作「北の桜守」は120本目の出演作となる。

13歳で映画デビュー。「キューポラのある街」(62年)のはつらつとした演技で、全国にサクリストを生んだ。青春スターとして年間10本以上の映画に出続けた。が、20代になると、大人の演技への脱皮に苦しんだ。・・・

肩書は「女優」ではなく「俳優」。長年のこだわりである。どんな役でもこなせるほど器用ではないと思っている。「どこまで続けられるかわからないけれど、自然に、流れるように映画に携わっていきたい」。吉永小百合であり続ける。

平成30年1月6日(土)の「be」紙、フロントランナーに掲載された吉永小百合さん(72歳)に関する記事を抜粋したものです。

もともと「本質的に暗くない」性格。もうダメだと思っても「未来はある」と思える。人柄だということで、いたって前向きな、ポジティブな思考の持ち主かもしれないと思って、この記事を読んだものです。

我々に、元気と勇気と希望等を与え続けてくれる人として、今年の第一回目に取り上げられたのかもとも思いました。サクリストのひとりとして、これからもしっかりと応援したいと思いますし、今後の活躍を祈念したいと思います。